

#### ④ 身近な自然を楽しむ : 桜はすでに満開過ぎ (2)

Enjoy the surrounding nature: Cherry blossoms(2) are already in full bloom

吉野輝雄

先号で予告した「桜が満開」号のつづきが遅くなり、後発の八重桜が咲き終えてしまった。先号では自生の桜(山桜)とソメイヨシノに代表される人の手による交配種(里桜)との違いに注目しながら芦花公園と近隣で見られた桜を紹介した。今号では、主に八重桜(里桜)に目を向け、名称不明の桜を2種挙げる。

今年は、雨が少なかったせいか染井吉野、高遠小彼岸桜や大島桜が比較的長い期間咲いていたが、続いて咲き出した八重桜は、大雨、季節はずれの異常な高温のためか短期間で花が終えてしまった感じがする。それでも淡いピンク色の八重桜が高密度で咲き出すと華麗な景色となる。芦花公園では、粕谷八幡神社の境内と隣のドッグラン敷地に八重桜が咲いた。その後、花の丘沿いに2本の薄緑色のギョイコウ(御衣黄)と何本もの枝垂れ桜が並んで咲いた。ギョイコウは白色の大島桜(オオシマザクラ)と深紅の寒緋桜(カンヒザクラ)の交配種なので、花期の後半になると花弁の一部が赤くなる(赤の遺伝物質が発現)。なお、薄緑色の桜がもう一種ある:ウコンザクラ(鬱金桜)。

なお、ヨウコウサクラ(陽光桜)は、アマギヨシノとカンヒザクラの交配によってつくられた里桜だ。薄赤色で透明感がある花はとても美しい。

シダレザクラは、広義では枝が垂れるサクラの総称。狭義では野生種のエドヒガンとの交配による枝垂れ桜の一群。しだれの原因は突然変異により植物ホルモンのジベレリンが不足して枝の上側の組織が硬く形成できず、枝の張りが重力に耐えられなくなっているからと考えられている(Wikipedia)。

山桜(野生種)については先号で定義し実名を挙げた。ここでは2種具体例を挙げる。ワキノサクラ(稚木の桜)は、牧野記念植物園で見た。オオヤマザクラ(大山桜)は、わが家の隣の敷地に植えられていた。

\*詳しくは次のネット情報を参照されたい。

「意外に多い桜の種類! -珍しい品種やお花見スポット」

<https://aminaflyers.amina-co.jp/list/detail/1126>

#### 【桜について個人的なコメント】 :

最後に挙げた2つの桜の種類、名称は目下のところ不明なので、来年の桜の季節までに調べたい。なお、この度の出会いと文献調査を行う過程で、桜が万葉の時代から日本に愛され、日本を代表する花であり、平和な日本の象徴するものであるか改めて認識させられた。

恥ずかしながら山桜と里桜という区別を知らなかった。興味の対象である花木の一つである桜が実はいくつかの自生種の交配(自然界で交配した山桜)と人為的に交配した里桜から多様な種類名の桜が生まれた事を知って驚き、興味が倍加した。そこで、これから桜について深掘りしたいと思っている。